



学校でも家庭でも 体験・発見 福祉学習



夏休み親子ボランティア体験講座
音訊体験 中部福祉センター



総合的な学習 桜井小学校



夏休み親子ボランティア体験講座
ガイドヘルプ体験 中部福祉センター

桜井小5年生は、サークル*くるくるのみなさんにお越しいただき、車いす体験をしました。
車いすの乗り方や介助のしかただけでなく、みんなが暮らしやすい社会をつくるためのヒントをたくさん教えていただきました。
「こんにちは」の一言が「ミニケース」の第一歩。相手の気持ちを考えて行動することが何よりも大切であることを学びました。
5年担任 杉浦容子

安城市社協では、「こころの教育」や「人への思いやり」などのお互いに助け合う心を育むことを目的に、各学校が実施する総合的な学習の支援をはじめ、親子で参加できるボランティア体験講座などを通じた福祉学習の支援をしています。詳しくは次ページをご覧ください。

特集 福祉の心を育むために!

'15 9/15 第78号

編集と発行／社会福祉法人 安城市社会福祉協議会
〒446-0046 安城市赤松町大北 78 番地 4 (社会福祉会館内)
TEL 0566(77)2941・FAX 0566(73)0437
E-mail syakyo@city.anjo.aichi.jp http://www.anjo-syakyo.or.jp/

ふだんのくらしをしあわせに

福祉の心を育むために!

福祉学習では、「ともに生きる力」を育むために、体験型の学習を大切にしています。体験を通して相手や自分を知り、自分なりの気づきや理解につながるように支援しています。

～小中学校の福祉学習の一部を先生からご紹介いただきました～

校内を車いす体験



桜井中学校

桜井中学校2年F組では、総合的な学習の時間で「WE♡桜井プロジェクト」～高齢者とともに生きる～をテーマに活動しています。高齢者について調べたり、高齢者疑似体験をしたりする中で、高齢者も住みやすい街とはどういう街かを考え始めました。二学期は主に認知症について学び、桜井を誰もが住みやすい街にするために、「自分には何ができるのか」を考えていきます。

2年担任 岩崎侑香

生徒の感想

よく高齢者がゆっくり歩いています。実際には高齢者疑似体験をして、腰が曲がっていたり、目が見えづらくて、こんな感じが毎日続くと思うと大変だと思いました。高齢者が困っていたら助けたいと思います。高齢者には「驚かささない」「急がせない」「プライドを傷つけない」をこれからも守って生活していきたいです。

桜井中 2年F組 神谷靖子

高齢者疑似体験で日常動作を体験



ボランティアセンターでは、少しでも多くの子どもたちや市民に、福祉に関する学習の機会を提供できるよう、講師の調整や学習の相談も行っています。内容は、高齢者や障がいのある人の支援だけでなく、防災・減災に関する学習メニューも用意しています。地域や職場、子ども会などでの実施も可能です。ぜひご相談ください。

福祉学習に関する相談・問い合わせ ボランティアセンター（社会福祉会館内） ☎77-2941

安城中部小学校

中部小3年生は、総合的な学習の時間「やさしさのつばい・とどげ隊」で、高齢者との交流を通して、様々なことを学んでいきます。今回は、高齢者疑似体験をした感想を紹介します。

3年担任 山本加代子



高齢者疑似体験指導サークル「たけうま」のみなさまが指導してくれました。

児童の感想

一番難しかったのは、おはじきです。ぼくはおはじきでつかむのが苦手だから、やるのに3分もかかってしまいました。ぼくのおじいちゃんとおばあちゃんは、目が見えづらいいと言っていました。毎日、字とかが見えない生活で、大変なんだと思いました。

中部小 3年1組 佐藤風雅

腕が曲がらなくて、お茶を飲む時、本のページをめくる時などがとくに難しかったです。友達やつっているのを見ていた時は簡単そうと思っていたけれど、実際にやってみると本当に難しかったです。私は、90代のおおばあにわがまま言わないように気をつけようと思いました。

中部小 3年2組 細井柚羽

私は自分が80歳になったらどうなるのか楽しみです。でも、体験をしてみたら、体は重くて動きにくいし、名前を書くだけでも大変でした。体験だからおもしろいと思っただけれど、高齢者はこんなに大変なんだと思いました。

中部小 3年3組 木村美優

二本木小学校



3世代ふれあいサロンで工作等のボランティアをしている藤田さん

児童が講師に宛てたお礼状

講師さんへ

ボランティアを40年やっていてすごいと思います。藤田さんはいっしょに遊ぶのは大変だろうけど、ぼくはうれしいと思いました。地域の人たちの笑顔を見たためにがんばっている藤田さんはとてもすごいなと思いました。これからもがんばってください。

二本木小3年3組 瀬戸しづつ

二本木小3年生は、地域でボランティア活動をされている高齢者を講師として招き、お話を聞きました。子どもたちは、年をとっても地域のために元気に活躍されていることに驚いていました。健康のために気をつけていることや、生きがいなどをインタビューし、おじいさん、おばあさんのパワーを感じました。今後は高齢者疑似体験を通して高齢者をよく理解するとともに、交流会を計画して「共に生きる」ことを考えていきます。

3年担任 辻智世



高齢者の見守りやふれあい活動の支援ボランティアをしている岸さん



ハートンからの
おしらせだよ！

共同募金助成事業「ボランティア活動活性化応援助成」 安城市福祉まつり(10月4日)で、市民投票を行います！

ボランティア団体の活動の充実やステップアップなどを目指した取り組みに対して助成します。

福祉まつり来場者のみなさまに投票していただき、みなさまの思いが団体へ届く仕組みです。投票数によって、団体への助成額を決定します。総合福祉センター入口付近に掲示した活動紹介を参考に、ぜひ投票をお願いします。

申請団体紹介と助成金の活用計画

①サークル輪々

精神障害者の支援ボランティアとして、本人や家族の支援活動を行います。助成金は、精神保健ボランティア養成講座の開催に活用し、精神障害者への正しい理解や関わり方を知って支援いただけるよう目指します。

②オ！せっかい

障がいのある人や高齢者の交流・支援をする中高年男性のボランティア団体です。助成金は、生きがいづくり講座の開催に活用し、定年を迎えた人が、経験を活かして活躍したり、地域貢献することを目指します。

③傾聴グループみより

高齢者福祉施設で傾聴活動をしています。助成金は、傾聴ボランティアのスキルアップ講習に活用して、傾聴を必要とされる多くの人に寄り添うことを目指します。

④サークル*くるくる

障がいのある仲間を中心に、誰もが住みやすいバリアフリーの街づくりを目指して活動しています。助成金は、学校や地域の車いす体験で使用する教材ビデオの制作費用として活用し、教材ビデオを併用して障がいのある講師との交流を効果的に提供して、心に残る福祉学習活動を目指します。

介護者のつどい

介護者のリフレッシュと情報交換の場です。

申込みは不要で、途中での入退室も可能です。介護をしている人、介護に関心のある人など、お気軽にご参加ください。

	日時	場所	問い合わせ
介護者のつどい	10月8日(木) 午後1時30分～3時	中部福祉センター 教養娯楽室	中部福祉センター ☎76-0090
	10月9日(金) 午後1時30分～4時30分	作野福祉センター 集会室	作野福祉センター ☎72-7570
	10月23日(金) 午後1時30分～3時30分	桜井福祉センター 多目的室1	桜井福祉センター ☎99-7365
	10月29日(木) 午後1時30分～3時30分	北部福祉センター 研修室	北部福祉センター ☎97-5000

赤い羽根共同募金助成事業

地域で輝こう！ プラチナエイジの生きがい講座

ボランティアで地域貢献など、新しい仲間と新たな生きがいを見つけませんか？あなたが活躍する活動を見つけた人、何か始めてみたい人、お気軽にご参加ください。

日時	テーマ
10月24日(土) 午前9時～正午	新しい仲間と出会い、ボランティア活動のきっかけづくりをしよう。
10月31日(土) 午前9時～正午	地域のニーズを知り、わたしのしたいこと、できることを仲間と共に探そう。
11月7日(土) 午前9時～正午	思いをかたちにつなげよう。アクションプランづくりに挑戦。

場 所 ▼ 社会福祉会館 会議室
講 師 ▼ 平野木恵氏（愛知学院大学非常勤講師）
対 象 ▼ 市内在住又は在勤の中高齢者
定 員 ▼ 20名（先着）
参加費 ▼ 3000円（茶菓子代）
受付 ▼ 9月18日(金)午前9時から
 （電話申込み可）
主 催 ▼ オ！せっかい
申込み ▼ 安城市ボランティアセンター
 ☎(77) 2941



9月21日(伊敬老の日)は、市内全ての福祉センターが開館します。お風呂も営業しますので、ご来館ください！

